英文法 L01 第 47 講 関係代名詞

学習目標

先行詞を見つけ、関係代名詞の後ろで主語または目的語に当たる語が欠けている形を判断できる。

基本的な限定用法で、先行詞が人か物か、節内で主語と目的語のどちらが不足しているかを根拠に、who・which・that を使い分けることができる。

解説

先行詞と関係代名詞

先行詞とは、後ろから説明を加えられる名詞のことだ。関係代名詞は、先行詞と、その名詞を説明する節（関係詞節）をつなぐ語である。節とは、主語と動詞を含む語のまとまりだ。関係代名詞を使うと、名詞の後ろに説明を加え、どのような人や物なのかを具体的に伝えられる。

I know a girl who plays tennis.

私はテニスをする女の子を知っている。

この文では、girl（女の子）が先行詞で、who plays tennis（テニスをする）がその女の子を説明する節だ。who は人を表す先行詞に使う関係代名詞で、この節の主語になる。つまり、who plays tennis は「その女の子がテニスをする」という関係を表している。who がすでに主語の役割を果たすため、後ろに she などの主語を重ねて置く必要はない。

I know a girl who plays tennis.

節の主語 [主語]: “who”

節の動詞 [動詞]: “plays”

節の目的語 [目的語]: “tennis”

解説

目的格の関係代名詞

目的格の関係代名詞は、説明する名詞が後ろの節で目的語になるときに使う。物を表す先行詞には which や that を使える。

I found the book which you recommended.

私はあなたが勧めた本を見つけた。

この文では、book（本）が先行詞で、which you recommended（あなたが勧めた）がその本を説明する節だ。関係代名詞の後ろには、主語 you と動詞 recommended が続いている。ここで、元の文を **You recommended the book.**（あなたはその本を勧めた）と考えると、the book は recommended の目的語だと分かる。関係代名詞の後ろでは、recommended の目的語に当たる語が欠けている。which がその目的語の役割を果たすので、**which you recommended it** のように it を重ねて置く必要はない。

主格では関係代名詞が節の主語になるが、目的格では節の目的語になる。この違いを、関係代名詞の後ろに続く語順から判断する。

©ミライコーチング

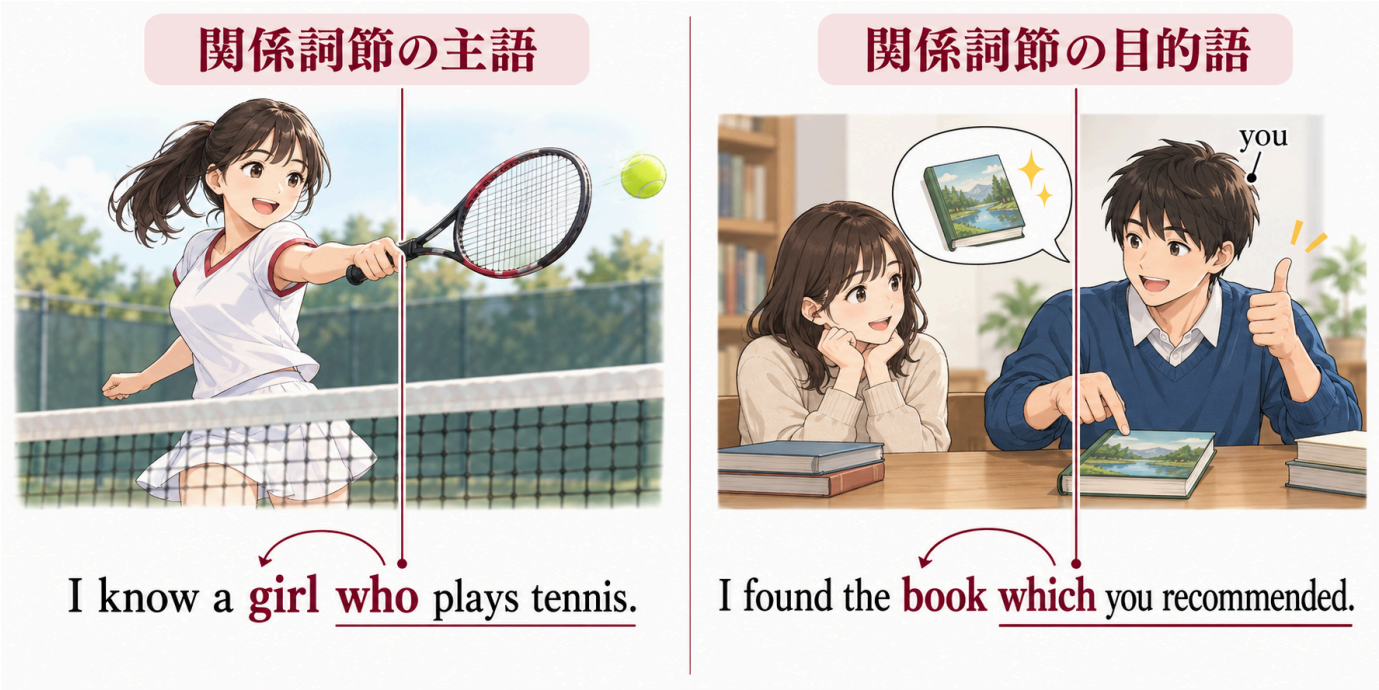


図 1　左：I know a girl who plays tennis. では who が関係詞節の主語。右：I found the book which you recommended. では which が目的語、you（あなた）が主語。

解説

who・which・that の使い分け

関係代名詞は、先行詞が人か物かを確認したうえで、説明する節の中で主語と目的語のどちらが不足しているかを考えて選ぶ。基本的な限定用法とは、後ろの説明でどの人や物かを絞り込む使い方である。関係代名詞は次の表のように使える。

先行詞	主語が不足	目的語が不足
人	who / that	who / that
物	which / that	which / that

人を表す先行詞には who または that、物を表す先行詞には which または that を使える。who は主格だけでなく目的格にも使えるため、目的語が不足する場合も選択肢になる。

たとえば、人を説明する節で who と that の両方が自然に使えるなら、どちらか一方を誤りにはできない。同様に、物を説明する節で which と that の両方が自然に使える場合も、両方を正しい形として扱う。先行詞の種類と節内の不足する役割を順に確認し、使える形を判断する。

©ミライコーチング

例題

1

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

The boy (　　) lives next door plays soccer.

A. which

B. who

C. he

D. him

解答・解説

正解：B. who

完成英文：The boy who lives next door plays soccer.

和訳：隣に住んでいるその男の子はサッカーをする。

先行詞は人を表す The boy（その男の子）だ。空所の後ろには lives next door（隣に住んでいる）が続き、動詞 lives の前に主語が必要になる。この主語の役割を果たすのが主格の関係代名詞 who だ。人を表す主格には that も使えるが、選択肢の中で適切なのは who だけである。

A. which：物を表す先行詞に使う語なので、人を表す boy には適さない。

B. who：人を表す先行詞を受け、後ろの節の主語になるため正しい。

C. he：he は人称代名詞であり、この位置で先行詞と後ろの節を結べない。

D. him：him は人称代名詞であり、この位置で先行詞と後ろの節を結べない。

2

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

This is the cake (　　) we made yesterday.

A. it

B. who

C. we

D. which

解答・解説

正解：D. which

完成英文：This is the cake which we made yesterday.

和訳：これは私たちが昨日作ったケーキだ。

先行詞は物を表す the cake（そのケーキ）だ。関係代名詞の後ろには主語 we と動詞 made が続いている。元の文を **We made the cake yesterday.**（私たちは昨日そのケーキを作った）と考える

と、the cake は made の目的語だと分かる。関係代名詞の後ろでは、made の目的語に当たる語が欠けている。which がその目的語の役割を果たすので、目的語の it を重ねて置く必要はない。

A. it：it は関係代名詞ではなく、この位置で先行詞と後ろの節を結べない。

B. who：人を表す先行詞に使う語であり、物を表す cake には適さない。

C. we：主語 we がすでにあるため、重ねると主語が二重になり、節の語順が成立しない。

D. which：物を表す先行詞を受け、後ろの節で不足している目的語の役割を担うため正しい。



図 2　YESTERDAY（昨日）は 2 人が同じケーキを一緒に作り、NOW（今）はそのケーキを示している。which は made の目的語として、作ったケーキを表す。

演習問題

1

次のうち、正しい英文を 1 つ選べ。

A. The woman who works here speaks Spanish.

B. The woman who she works here speaks Spanish.

C. The woman which works here speaks Spanish.

D. The woman works here speaks Spanish.

2

次のうち、正しい英文を 1 つ選べ。

A. The alarm that it rings at six wakes me.

B. The alarm rings at six wakes me.

C. The alarm that rings at six wakes me.

D. The alarm that ring at six wakes me.

3

次のうち、正しい英文を 1 つ選べ。

A. I thanked the driver who you helped him yesterday.

B. I thanked the driver who you helped yesterday.

C. I thanked the driver who you him helped yesterday.

D. I thanked the driver who did you help yesterday.

4

次のうち、正しい英文を 1 つ選べ。

A. I put the keys in the bag which my sister bought it.

B. I put the keys in the bag which my sister it bought.

C. I put the keys in the bag which did my sister buy.

D. I put the keys in the bag which my sister bought.

©ミライコーチング

5

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

The nurse (　　) visits our school is kind.

A. who

B. she

C. which

D. him

6

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

I lost the card (　　) you gave me.

A. it

B. who

C. which

D. she

7

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

The baker (　　) sells fresh bread works hard.

A. he

B. him

C. that

D. which

8

次の英文の空所に入る最も適切な語を選べ。

We invited the artist (　　) my brother met yesterday.

A. who

B. she

C. which

D. he

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：A

正しい英文：The woman who works here speaks Spanish.

和訳：ここで働く女性はスペイン語を話す。

先行詞は人を表す The woman で、who works here がその女性を説明している。関係詞節では who が主語となり、動詞 works が続く。主格の関係代名詞が必要な位置に、別の主語を重ねたり、who を省略したりすることはできない。

A. The woman who works here speaks Spanish.

ここで働く女性はスペイン語を話す。who が関係詞節の主語となり、who works here が女性を説明している。主節の動詞 speaks にも主語 The woman があるため、正しい。

B. The woman who she works here speaks Spanish.

意図した意味は「ここで働く女性はスペイン語を話す」だが、この英文は文法的に成立しない。関係詞節では who が主語の役割を果たしているのに、she も主語として置かれているため、主語が二重になっている。

C. The woman which works here speaks Spanish.

意図した意味は「ここで働く女性はスペイン語を話す」だが、この英文は文法的に成立しない。which は物を表す先行詞に使う関係代名詞であり、人を表す The woman を先行詞とする場合には不適切である。

D. The woman works here speaks Spanish.

意図した意味は「ここで働く女性はスペイン語を話す」だが、この英文は文法的に成立しない。この形では The woman works here がひとまず独立した文として読めるが、続く speaks Spanish には主語がなく、2 つの動詞も適切につながっていない。女性を後ろから説明するには、主格の関係代名詞 who などが必要である。

2

正解：C

正しい英文：The alarm that rings at six wakes me.

和訳：6 時に鳴るアラームが私を起こす。

先行詞は物を表す The alarm で、that rings at six がアラームを説明している。関係詞節では that が主語となり、単数の alarm を受ける動詞 rings が続く。主節では The alarm が主語となり、動詞 wakes が使われている。

A. The alarm that it rings at six wakes me.

意図した意味は「6 時に鳴るアラームが私を起こす」だが、この英文は文法的に成立しない。関係詞節の主語は that であるため、it を重ねると主語が二重になる。

B. The alarm rings at six wakes me.

意図した意味は「アラームが 6 時に鳴って私を起こす」だが、この英文は文法的に成立しない。rings at six だけではアラームを後ろから説明する関係詞節にならず、rings と wakes も適切につながっていない。主格の関係代名詞 that などを使って、アラームを説明する構造にする必要がある。

C. The alarm that rings at six wakes me.

6 時に鳴るアラームが私を起こす。that が関係詞節の主語となり、単数の alarm に合わせて rings が使われている。主節も The alarm を主語とする正しい文なので、正解である。

D. The alarm that ring at six wakes me.

意図した意味は「6 時に鳴るアラームが私を起こす」だが、動詞の形が誤っている。that は単数の先行詞 alarm を受ける関係詞節の主語なので、現在形は ring ではなく rings とする必要がある。

©ミライコーチング

3

正解：B

正しい英文：I thanked the driver who you helped yesterday.

和訳：私は昨日あなたが助けた運転手にお礼を言った。

先行詞は人を表す the driver で、who you helped yesterday がその運転手を説明している。関係詞節では you が主語、helped が動詞で、who が目的語の役割を果たす。そのため、目的語の him を重ねて置く必要はない。また、関係詞節は疑問文ではないので、通常の「主語＋動詞」の語順にする。

A. I thanked the driver who you helped him yesterday.

意図する意味は「私は昨日あなたが助けた運転手にお礼を言った」だが、who がすでに helped の目的語の役割を果たしているのに、him も置いているため誤り。

B. I thanked the driver who you helped yesterday.

私は昨日あなたが助けた運転手にお礼を言った。who が helped の目的語となり、主語 you、動詞 helped の語順も正しい。

C. I thanked the driver who you him helped yesterday.

意図する意味は「私は昨日あなたが助けた運転手にお礼を言った」だが、him が目的語として重複している。さらに、you him helped という語順も誤り。

D. I thanked the driver who did you help yesterday.

意図する意味は「私は昨日あなたが助けた運転手にお礼を言った」だが、did you help という疑問文の語順になっている。関係詞節では主語 you の後ろに動詞 helped を置く。

©ミライコーチング

4

正解：D

正しい英文：I put the keys in the bag which my sister bought.

和訳：私は、私の姉（妹）が買ったバッグに鍵を入れた。

先行詞は物を表す the bag で、which my sister bought がそのバッグを説明している。関係詞節では my sister が主語、bought が動詞で、which が bought の目的語の役割を果たす。そのため、目的語の it を重ねて置く必要はない。また、関係詞節は疑問文ではないので、主語 my sister の後ろに動詞 bought を置く。

A. I put the keys in the bag which my sister bought it.

意図する意味は「私は、姉（妹）が買ったバッグに鍵を入れた」だが、which が bought の目的語の役割を果たしているため、it を重ねるのは誤り。

B. I put the keys in the bag which my sister it bought.

意図する意味は「私は、姉（妹）が買ったバッグに鍵を入れた」だが、it が目的語として重複している。また、my sister it bought という語順も誤り。

C. I put the keys in the bag which did my sister buy.

意図する意味は「私は、姉（妹）が買ったバッグに鍵を入れた」だが、did my sister buy という疑問文の語順になっている。関係詞節では主語 my sister の後ろに動詞 bought を置く。

D. I put the keys in the bag which my sister bought.

私は、私の姉（妹）が買ったバッグに鍵を入れた。which が bought の目的語となり、主語 my sister、動詞 bought の語順も正しい。

5

正解：A. who

完成英文：The nurse who visits our school is kind.

和訳：私たちの学校を訪れる看護師は親切だ。

先行詞は人を表す the nurse（その看護師）で、who visits our school が看護師を説明している。関係詞節では visits の前に主語が必要で、who がその役割を果たす。人を表す先行詞には who や that を使えるため、どちらも選択肢にある場合は両方が自然に使えるかを確認する。

A. who：人を表す先行詞を受け、関係詞節の主語になるため正しい。

B. she：she は「彼女は」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなげない。

C. which：物を表す先行詞に使う関係代名詞であり、人を表す nurse には適さない。

D. him：him は「彼を・彼に」を表す目的格の人称代名詞で、関係詞節の主語にはなれず、先行詞と節をつなぐ働きもない。

6

正解：C. which

完成英文：I lost the card which you gave me.

和訳：私はあなたが私にくれたカードをなくした。

先行詞は物を表す the card（そのカード）で、which you gave me がカードを説明している。関係詞節では you が主語、gave が動詞、me が「私に」という渡す相手を表す語だ。元の文を **You gave me the card.**（あなたは私にそのカードをくれた）と考えると、me は渡す相手、the card は渡した物を表す。関係詞節では渡した物の目的語が不足しており、which がその役割を果たす。me がすでにあっても、渡した物を表す目的語とは役割が異なるため、この 4 肢では which が適切である。

A. it：it は「それを」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなぐ働きがない。この位置に置いても、関係代名詞の代わりにはならない。

B. who：人を表す先行詞に使う関係代名詞であり、物を表す card には適さない。

C. which：物を表す先行詞を受け、関係詞節で不足している「渡した物」の目的語を表すため正しい。

D. she：she は「彼女は」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなぐ働きがない。また、関係詞節にはすでに主語 you があるため、主語としても適さない。

I lost the card which you gave me.

渡した物 [渡した物]: “which”

節の主語 [主語]: “you”

節の動詞 [動詞]: “gave”

渡す相手 [渡す相手]: “me”

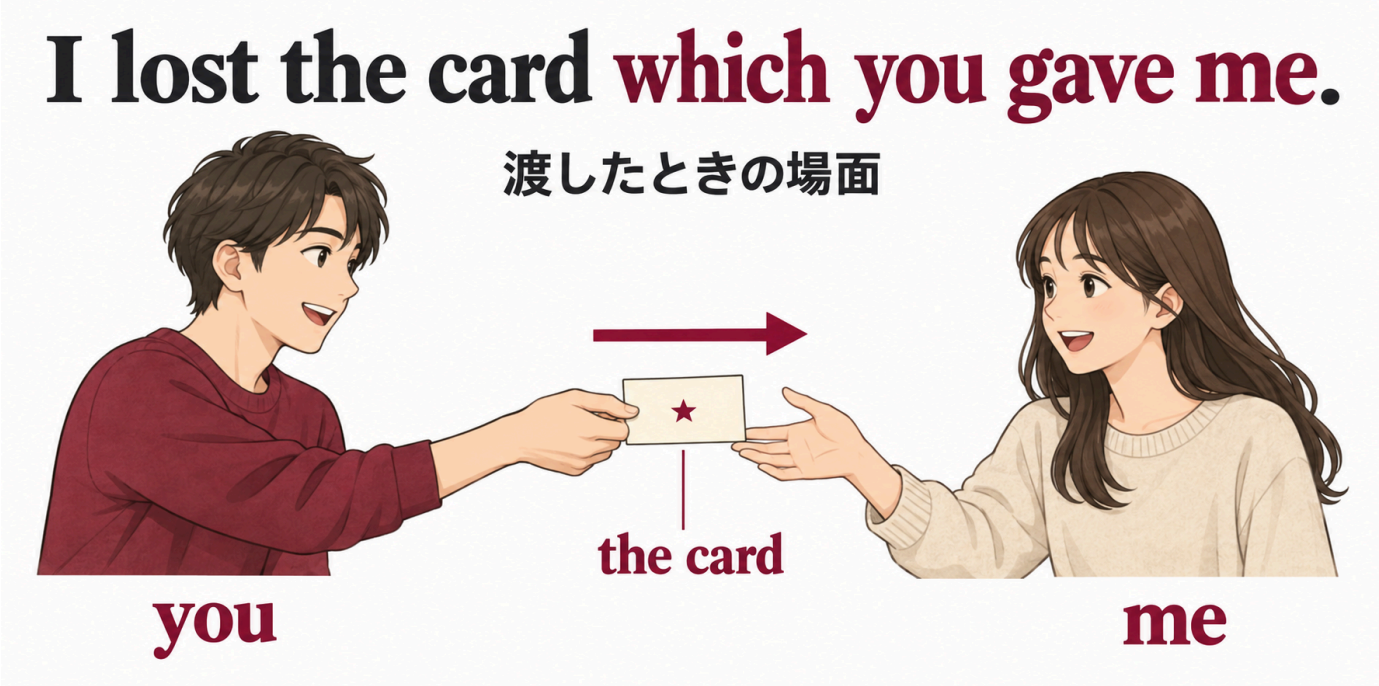


図 3　渡したときの場面。渡す人は you（あなた）、渡す相手は me（私）、渡す物は the card（そのカード）だ。which は gave の目的語として、渡した物を表す。

7

正解：C. that

完成英文：The baker that sells fresh bread works hard.

和訳：新鮮なパンを売るパン職人は一生懸命働く。

先行詞は人を表す The baker（そのパン職人）で、that sells fresh bread がそのパン職人を説明している。関係詞節では sells の前に主語が必要で、that がその役割を果たす。人を表す先行詞には who も that も使えるが、選択肢にあるのは that なので C が正解となる。

A. he：he は「彼は」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなぐ働きがない。この位置に置くと、パン職人を後ろから説明する関係詞節を作れない。

B. him：him は「彼を・彼に」を表す目的格の人称代名詞で、関係詞節の主語にはなれず、先行詞と節をつなぐ働きもない。

C. that：人を表す先行詞を受け、関係詞節の主語になるため正しい。

D. which：物を表す先行詞に使う関係代名詞であり、人を表す baker には適さない。

8

正解：A. who

完成英文：We invited the artist who my brother met yesterday.

和訳：私たちは、昨日私の兄または弟が会った芸術家を招待した。

先行詞は人を表す the artist（その芸術家）で、who my brother met yesterday がその芸術家を説明している。関係詞節では my brother が主語、met が動詞で、who が met の目的語の役割を果たす。元の文を **My brother met the artist yesterday.**（私の兄または弟は昨日その芸術家に会った）と考えると、the artist が目的語に当たると分かる。who がその役割を果たすため、目的語の人称代名詞 him などを重ねて置く必要はない。

A. who：人を表す先行詞を受け、関係詞節で不足している目的語の役割を果たすため正しい。who は主語だけでなく、目的語としても使える。

B. she：she は「彼女は」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなぐ働きがない。また、関係詞節にはすでに主語 my brother があるため、主語としても適さない。

C. which：物を表す先行詞に使う関係代名詞であり、人を表す artist には適さない。

D. he：he は「彼は」を表す人称代名詞で、先行詞と関係詞節をつなぐ働きがない。また、関係詞節にはすでに主語 my brother があるため、主語としても適さない。

©ミライコーチング